

- Cooperative Actions for Disaster Risk Reduction - (CADRR)

ISWE4, March 4-6, 2009

U-Thant Hall & Elizabeth Rose Hall, UN University, Tokyo, Japan

各種災害リスク低減のためのシンポジウム

2009年3月4日-6日

国連大学内 U-Thant HallおよびElizabeth Rose Hall
(〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70)

同時通訳あり

共催

国際風工学会 (IAWE) (幹事団体)
国連大学 (UNU)
国連国際防災戦略 (UN/ISDR)
アジア防災センター (ADRC)
東京工芸大学 (TPU) (幹事団体)

後援 (予定を含む)

日本風工学会 (JAWE), 日本リモートセンシング学会 (RSSJ), 日本気象学会 (MSJ), 日本火災学会 (JAFSE), 日本地震工学会 (JAEE), バイオクリマ研究会 (BCRC), 気候影響・利用研究会 (JSGCIA), 土木学会 (JSCE), 日本建築構造技術者協会 (JSCA), 日本自然災害学会 (JSNDS), 日本建築学会 (AIJ), 気象庁 (JMA), (独)国際協力機構 (JICA), (独)建築研究所 (BRI), 内閣府 (COGJ), 文部科学省 (MEXT), 国土交通省 (MLIT), (独)土木研究所 (PWRI),

投稿・参加募集

開催主旨

気候変動や都市の過密化、インフラストラクチャの大型化などにより、自然災害の様相も変化し、近年、深刻な被害の報告も少なくありません。特にアジア地区では、死者十万人を超える規模の災害が後を絶ちません。本シンポジウムは、様々な自然現象、気象現象によって引き起こされる人類社会への災害リスクを低減するための統括的な活動や、組織作りのための議論の場を提供し、災害リスク低減に貢献することを目的としています。本シンポジウムで対象とする災害は、強風、地震、洪水、津波、地滑り、火災、熱波など広い範囲に及びます。これらの現象や災害は互いに相関を持つものもあり、複合災害の観点からの議論が大いに必要ですし、分野を横断した国際的共同アクションの展開が強く望まれます。

プログラム

本シンポジウムは招待講演と一般講演との二つのセッションで構成されます。2009年3月4日、5日は招待講演セッションで、各国、各組織で種々の立場から災害リスク低減のための教育・研究・支援活動を行っている著名な研究者や組織の代表者を招聘し、基調講演、招待講演、およびパネルディスカッションを行います。3月6日は一般講演セッションで、各分野の研究者等から投稿された研究や事例をご講演いただき、議論がなされます。最新のプログラムは下記ホームページに掲載します。

論文募集

各分野の研究者、活動家等からの被害報告や防災対策に関する講演を募集しています。参加される方はA4版2頁の英文アブストラクトを2009年2月15日までに、シンポジウム事務局 (cao@arch.t-kougei.ac.jp) までご投稿ください。原稿フォーマットは下記シンポジウムホームページから入手できます。研究論文はもとより、設計者、技術者の方々からの具体的な事例紹介も歓迎いたします。

参加登録

下記のシンポジウム・ホームページから事前登録をお願いいたします。登録費は一般5千円、学生は無料です。ただし、レセプションディナーは別料金です。

参加申込み先 東京工芸大学 グローバルCOE支援室
〒243-0297神奈川県厚木市飯山1583
Email: gcoeoffice@arch.t-kougei.ac.jp, cao@arch.t-kougei.ac.jp
電話/Fax: 081-46-242-9658

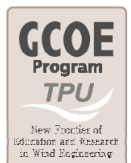
ホームページ: <http://www.wind.arch.t-kougei.ac.jp/ISWE4/index.html>



UNITED NATIONS
UNIVERSITY



International Strategy for
Disaster Reduction



- Cooperative Actions for Disaster Risk Reduction - (CADRR)

ISWE4, March 4-6, 2009

U-Thant Hall & Elizabeth Rose Hall, UN University, Tokyo, Japan

プログラム (仮)

● 2009年3月4日 (水) <同時通訳あり> U-Thant Hall

08:30 - 09:00 参加登録

09:00 - 09:30 開会式

歓迎挨拶：田村幸雄 (国際風工学会IAWE・会長/東京工芸大学GCOE拠点リーダー)

開会挨拶：Konrad Osterwalder (国際連合大学・学長)

開会挨拶：未定 (日本政府機関)

09:30 - 10:30 基調講演

Giovanni Solari (イタリア・ジェノバ大学, 国際風工学会IAWE・前会長)

Salvano Briceno (国連・国際防災戦略ISDR)

10:50 - 12:20 災害の変化傾向および統計1

気象災害の変化傾向：Geoffrey Love (国際気象機関WMO)

災害による経済的ロスの変化傾向：未定 (ミュンヘン再保険会社)

竜巻/局地強風：Thomas Schmidlin (米国・セントステート大学)

大雨/洪水：Liu Zhiyu (中国・水資源省)

13:30 - 15:10 災害の変化傾向および統計2

津波・高潮：今村文彦 (東北大学)

地震：目黒公郎 (東京大学生産技術研究所)

地滑り：Dwikorita Karnawati (インドネシア・Gadjah Mada大学)

熱波：Joe Golden (米国・国立海洋大気圏局NOAA)

火災：早坂洋史 (北海道大学)

15:30 - 17:10 最近の激甚災害

2004年12月26日インド洋津波被害：Teddy Boen (インドネシア)

2005年米国ハリケーンKatrina被害：Timothy Reinhold (米国・商業/住宅安全協会IBHS)

2007年11月15日バングラデシュ・サイクロンSidr被害：林泰一 (京都大学)

2008年5月2日ミャンマー・サイクロンNargis被害：U Win Zaw (ミャンマー建設省)

2008年5月12日中国Wenchuan地震：Zifa Wang (中国・地震局工程力学研究所)

● 2009年3月5日 (木) <同時通訳あり> U-Thant Hall

08:30 - 09:00 参加登録

09:00 - 10:20 災害リスク低減活動1

国連世界気象機関WMOの取り組み：Geoffrey Love (世界気象機関WMO)

国際連合大学の取り組み：Srikantha Herath (国際連合大学)

アジア防災センターADRCの取り組み：鈴木弘二 (アジア防災センターADRC)

水災害・リスクマネジメント国際センター

ICHARMにおける活動：Amithirigala W.

Jayawardena (水災害・リスクマネジメント国際センターICHARM)

10:40 - 12:00 災害リスク低減活動2

東京工芸大学/ノートルダム大学GCOE Program

および仮想的工学組織EVO：Ahsan Kareem (米国ノートルダム大学)

太平洋諸島プログラム：未定 (オーストラリア危機管理局)

風の壁プロジェクト：Forrest Masters (米国フロリダ大学)

ヨーロッパCOST ACTION C26：Ted Stathopoulos (カナダ・コンコルディア大学)

13:20 - 15:00 災害復興, 再建その他

経済的手段：Haresh Shah (米国RMS社)

ODAの果たす役割：三村悟 (国際協力機構JICA)

国連人間居住計画UN-Habitatの果たす役割：

Mariko Sato (国連人間居住計画UN-Habitat)

災害低減のための地球観測と予報 - GEOSS：

柴崎亮介 (東京大学)

地域社会プログラム：Muhammad Saidur Rahman (バングラデシュ防災センター)

15:20 - 17:20 パネルディスカッション

司会：米国Texas Tech大学Kishor Mehta

気候変化および風：Gabriel A. Vecchi (米国NOAA)

災害管理における多分野協力：片山恒雄 (国際地震工学会IAEE会長)

ISDR連携強風災害プラットフォーム：小野裕一 (UN/ISDR)

ディスカッション (IAWE, UN/ISDR, UNU, UN/HABITAT, ICHARM, ADRC, WMO, IAEE)

● 3月6日 (金) Elizabeth Rose Hall 9:00 - 17:00 一般セッション (投稿受付中)